

## 2020年度第8回 OLSP 運営会議 抄録

日時：2020年12月10日（木） 14：00~16:00

会場：Zoom

出席者（敬称略）：梶屋、有田、大浪、粕川、小林、横田、関口（記録）  
推進室 富士、大坪

### 1. 報告事項

#### ① 所外 HP の公開について

所外 HP を公開した。なお、メンバーページの更新は人事決裁後反映される。各研究室へのリンク方法は推進室より広報室に確認する。

#### ② 兼務の手続きについて（大坪）

2月1日付での兼務発令にむけて手続き中である。

#### ③ ツイッターアカウント（大浪）

アカウント名@RIKEN\_OLSP として、大浪が開設し、運営を始めた。

#### ④ オントロジー作業部会について（梶屋）

配布資料の通り、各センターから選出したメンバーの紹介があった。

今後の活動は、BOX 内にエクセルを置いて星取表、例えばタテにデータセット・ヨコにデータの種類といった表を共同作成する。そこからデータセットに含まれる共通度が高いデータレコードやオントロジーをまとめながら作業をすすめる。

### 2. 連絡事項

#### ① 公募課題について（粕川）

計画書最終版と公開用研究概要作成の進捗を確認した。さらに、公開用研究概要作成の公開範囲は外部公開とすることで合意した。

#### ・ 相談事項（小林）

小林が担当している内部公募課題のひとつで、申請者が個人の事情で辞退し共同研究者が引き続くこととなった。本件は研究内容に変更がないため共同研究者が代表を引継ぎ、研究を進めることで承認された。今後も、内部公募課題の変更に関する対応は担当者単独の判断ではなく運営会議で協議することとなった。

### 3. 審議事項

#### ① 運営委員について（大浪）

大浪から運営委員に CBS から下郡 TL の追加と、下郡 TL の上級研究員としてのユニット追加が提案され、2月1日付兼任で合意された。なお、兼務は CBS センター長承認済である。

・ 相談事項（大浪）

今後、各センター（センター長）から上級研究員としてデータ共有開発ユニット参加推薦を受けた場合の対応について議論した。ひとつのセンターから1名という原則ではあったが、センターからの推薦は受付ける。ただし、特定のセンターからの参加が多くなるといった偏りが無いよう管理が必要であることから、OLSP 運営会議にてユニット追加参加者について議論し、承認することとなった。一方で、ユニットの上級研究員は必ずしも OLSP 運営委員となる必要はなく、運営委員への参加者追加も、OLSP 運営会議の場で議論して決定することとなった。ユニット参加と運営会議参加は別件として扱われる。

② 予算執行について（大浪）

本部留保分子算から柵屋研が希望する機材購入はメール審議にて認められた。残高は柵屋研を除く OLSP メンバーPI に均等配分することで合意した。

4. その他

① SSBD:repository 活用のお願（大浪）

大浪が進める研究プロジェクトの代表として、各センターのデータガイドライン作成にあたり、画像データの SSBD:repository への登録を推奨してほしい旨依頼があった。SSBD は画像データと定量データを扱っており、それ以外の種類のデータとは連携を持たせている。各センターがすすめるデータ集積プロジェクトと競合するのでは、という意見があったが、データを登録・共有する場所を1つに限定することは利便性が低く、むしろ複数の DB にデータを登録し活用の窓口を増やすことが推奨される。

また、データガイドライン作成にあたりながら、各研究者が実際どうすべきかがわかりにくく感じている現状を認識し、OLSP からデータ置き場としての各 DB の特徴を記したポータルサイトやリストを作成し共有できると、研究者それぞれがオープンデータを実践するにあたり参考になるだろうという意見があった。

② 今後の予定

第9回 OLSP 運営会議

日時： 2021年1月14日（木）14:00~16:00

会場： Zoom

以上

# 2020年度第8回OLSP運営会議

## 1. 報告事項

- ① 情報システム本部生命科学データ共有開発ユニットの所内HPの公開について（大浪）
- ② ISC生命科学データ共有開発ユニットのOLSP各TL等の兼務について（富士）
- ③ OLSP twitterアカウントについて（大浪）
- ④ オントロジー作業部会の進捗（柘屋）

## 2. 連絡事項

- ① 公募課題について（粕川）

## 3. 審議事項

- ① OLSP運営委員の追加について（大浪）
- ② 今年度予算の執行について（大浪）

## 4. その他

- ① SSBD:repositoryの活用をお願い（大浪）

次回運営会議（1/14）

## オントロジー作業部会メンバー

- CSRS 高橋みき子（メタボローム情報研究チーム）
- CBS 奥村嘉宏、今泉武佐史（神経情報基盤開発ユニット）
- BRC 櫛田達矢（統合情報開発室）
- BDR 糸賀裕弥（発生動態研究チーム：オブザーバーFangfang Wangさん）
- ISC 加藤雅樹（データ知識化開発ユニット、オブザーバー：小林UL）
- RAP 横田秀夫（画像情報処理研究チーム）
- OLSP 山縣友紀（BDR発生動態研究チーム）
- 部会長柘屋啓志（BRC統合情報開発室）

## 今後のアクション

1. 全員への連絡、ご挨拶
2. Boxに招待
3. 各センターで収集するデータに関して、
  - ・ データセットの主題
  - ・ データセットに含まれるカラムの星取表を作成する
4. メタデータの検討に入る
  - ・ 共通部分を優先に、なるべく具体的に進める

# SSBD:repository活用のお願い

- ・ SSBD:respository
  - ・ 論文発表された研究に使用した画像データの公開リポジトリ
  - ・ <http://ssbd.qbic.riken.jp/repository/>
- ・ 現在、世界レベルで画像データのエコシステムの構築が進んでいる。
- ・ 各センターから論文公開される（された）研究で使用した画像データの「オリジナルデータ」をSSBD:repositoryに登録することを推奨していただきたい。
  - ・ リクエストがあれば説明に伺います。
- ・ SSBD:respositoryに登録されたデータにはDOIが発行され、論文中にDOIを記載することで、データの再利用が促進される。
- ・ SSBD:repository登録のタイミング
  - ・ 論文投稿時
  - ・ 論文アクセプト直前
- ・ 1 週間程度でDOIの発行が可能
- ・ 申込 : [ssbd-repos@ml.riken.jp](mailto:ssbd-repos@ml.riken.jp)